

事業番号	05 07 03	事業改善シート(令和3年度実施事業分)		□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	難病及びその他疾病対策事業	部局	健康福祉部	課・室	保健・疾病対策課	
		実施期間	H6 ~	E-mail	hoken-shippe@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	⑦健康長寿日本一を維持					
総合的に展開する重点政策	4-3 医療・介護提供体制の充実					

## 1 事業の概要

事業の現状・目指す姿(予算編成時)及び実施内容	<b>【現状】</b> 難病:難病法の施行に伴い平成27年度から難病相談支援センターの相談員を2名に増員し体制の強化を図るとともに、保健福祉事務所における交流会等の充実、また難病対策連絡会議等で多職種による連携を図り、難病医療提供体制について検討。 骨髄:近年の取組みによりドナー登録者数は増加傾向にあるが、年齢制限のあるドナー登録者の高齢化や、仕事や収入等の理由により提供を断念するドナーがあり、若年層ドナーの確保と、骨髄等の提供に係るドナーの負担軽減が課題である。
	<b>【目指す姿】</b> 難病:難病患者が地域で安心して療養生活を送れるよう、医療費の助成、相談等患者支援体制の充実及び難病診療体制の構築を目指す。 骨髄:関係機関と協力した普及啓発の充実による、ドナー登録者の確保及び骨髄等の提供がより多く行われる体制の充実を目指す。 その他疾病:各疾病への正しい知識の普及啓発及び医療の質の向上に努め、健康寿命の延伸を目指す。
	<b>【実施内容】</b> 難病対策推進事業、骨髄提供希望者登録推進事業、生活習慣病対策推進事業、アレルギー疾患対策推進事業等

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度目標値	達成状況
1	難病相談支援センター及び保健福祉事務所における患者支援件数(相談・交流・研修等)	件	7,961	6,633	↓	8,437	↑	現状以上	達成
2	難病患者等ホームヘルパー養成研修受講者数(累計)	名	1,433	1,433	→	1,475	↑	1,470	達成
3	対象人口千人あたりのドナー登録者数 ※対象人口(18歳~54歳)	位	47	46	↑	44	↑	現状以上	達成
4									
5									

区分(単位:千円)		R1年度	R2年度	R3年度
事業コスト	前年度繰越額	0	0	0
	当初予算額	2,105,846	2,197,921	2,347,557
	補正予算額	461,227	436,309	418,491
	合計(A)	2,567,073	2,634,230	2,766,048
	うち一般財源	1,528,137	1,547,286	1,398,668
	決算額(B)	2,535,077	2,604,181	2,723,676
職員数(人)		8.8	8.8	8.8

成果指標及び目標値の設定理由	1及び2:難病患者の生活上の不安が大きいことを踏まえ、難病相談支援センター及び保健福祉事務所における患者支援の回数、また難病患者等ホームヘルパー養成研修受講者数を成果目標に設定 3:当該値の上昇はドナー登録者数の増加に起因するため、成果目標に設定
----------------	--

達成状況の分析	1及び2:コロナ禍で難病患者の感染や身体状況の悪化等不安が増大し、難病相談支援センターへの相談が例年以上となった。また、従来の相談方法に加え、オンラインでの対応が可能となり、相談件数が増加した。 3:近年の取組みによりドナー登録者数は増加傾向にあるが、年齢制限のあるドナー登録者の高齢化や、仕事や収入等の理由により提供を断念するドナーがあり、若年層ドナーの確保と、骨髄等の提供に係るドナーの負担軽減が課題である。
---------	---

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 難病相談支援センターにおける患者支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・難病相談支援員による療養・日常生活・就労等各種相談及び支援 相談実績6,553件</li> <li>・難病患者等コミュニケーション支援(支援者に対する個別支援)</li> <li>・患者等の自主的活動に対する支援、患者交流会等の支援</li> </ul> </li> <li>✓ 保健福祉事務所における患者支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師による訪問・電話・面接等の相談支援 相談実績1,884件</li> <li>・医療生活相談会・患者交流会 計18回開催(うち、支援者を対象とした研修会 計2回開催)</li> </ul> </li> <li>✓ 循環器病対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに、長野県循環器病対策推進協議会を設置、開催</li> <li>・長野県循環器病対策推進計画(令和4年度~令和5年度)を策定</li> </ul> </li> </ul>
------	--

## 2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定難病の患者数は増加傾向であり、希少疾患であるために患者や家族等の相談、交流の場へのニーズも大きい。特にR3年度は新型コロナウイルス感染症への不安が大きく、相談件数が増加した。</li> <li>・脳卒中、心臓病その他の循環器病は、県民の死亡や介護の主要な原因であり、県民の社会生活に大きな影響を与えている疾病である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難病患者、家族等の相談、交流の場へのニーズに対して、個別相談や相談会、交流会を継続し、難病患者の不安の軽減を図る。</li> <li>・循環器病の発症予防をはじめ、発症後の適切な初期対応から医療サービス等の提供まで、県民への普及啓発や、医療従事者等に対する研修会を開催するなど、県計画に基づき、幅広い分野で総合的な循環器病対策を推進していく。</li> </ul>

事業名	難病及びその他疾病対策事業	部局	健康福祉部	課・室	保健・疾病対策課
-----	---------------	----	-------	-----	----------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	難病対策推進事業	2,534,368 千円	2,604,105 千円	2,723,002 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	特定医療費助成事業	直接	指定難病の治療に係る医療費の自己負担分(患者一部負担額を除く)の公費負担により、難病の原因究明及び治療法の確立、患者の経済的負担の軽減	
2	特定疾患治療研究事業	直接	特定疾患、先天性血液凝固因子障害等の治療に係る医療費の自己負担分の公費負担、及び特定疾病の治療に係る医療費の自己負担分(患者一部負担額を除く)の公費負担により、患者の経済的負担の軽減	
3	難病特別対策推進事業	委託	難病診療連携拠点病院である信州大学医学部附属病院へ難病診療連携コーディネーターを配置、難病医療ネットワークへの参加、在宅難病患者の一時入院の調整、在宅で療養する重症難病患者に係る一時入院に係る病床確保協力金を支給	
4	骨髄提供希望者登録推進事業	直接	関係団体と協力した普及啓発活動により県民の骨髄等の移植に関する理解を促進するとともに、骨髄等の提供を希望する者がドナー登録や提供を行いやすい環境を整備	
5	遷延性意識障害者医療費給付事業	直接	遷延性意識障害者の治療に係る医療費の自己負担分を公費負担し、遷延性意識障害者の医療の推進と患者家族の経済的負担の軽減	
6	療養生活環境整備事業	委託	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難病相談支援センターを信州大学医学部附属病院へ委託</li> <li>・電話・面談・訪問等による相談支援、患者会支援等</li> </ul>	
7	在宅難病患者コミュニケーション支援事業	直接	在宅難病患者が意思伝達装置等の療養生活支援機器を選択する際の支援を行う医療機関や訪問看護ステーション等の支援者に対する研修、機器貸出を実施	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
2	その他疾病対策事業	709 千円	76 千円	674 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	生活習慣病対策推進事業	直接	第6回信州臨床パス研究会を2月26日(土)相澤病院ヤマサホールにて開催の準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い中止(参加者の多くが医師、看護師はじめ医療従事者であり、現状での実施は困難であった)	
2	アレルギー疾患対策推進事業	直接	アレルギー疾患医療拠点病院に、信州大学医学部附属病院、県立こども病院を指定拠点病院による小児アレルギー疾患診療の現状に関するアンケート調査の実施 拠点病院による保健師を対象としたアレルギー疾患講演会の開催	
3	循環器病対策推進事業	直接	循環器病対策基本法の規定に基づく、都道府県循環器病対策推進計画の策定に向けて、協議会及びワーキンググループを開催 令和4年3月、「長野県循環器病対策推進計画」を策定	